

# No.1557

## 食品にご注意

— 横 浜 —

食中毒の発生は7月から9月にかけて年間の7割近くが集中しています。

横浜市衛生局では8月3日からの「食品衛生週間」を前に8月1日戸塚駅前を中心に食品衛生の普及、向上を訴えるキャンペーンを行ないました。

今年はタレントの大和田伸也、五大路子夫妻を「一日食品衛生監視員」に任命。

さっそく食堂街のおそば屋さんへ入り調理場をのぞきます。

普段立ち入らない場所だけに熱心に衛生面を点検します。

団地のスーパーでは冷凍棚の肉のバックを手にとり主婦の立場でチェック。

毎日とり扱う食品だけに衛生には充分注意したいものです。

## 人気呼ぶ「未来の東北博」

— 仙 台 —

7月18日から9月28日まで仙台市で「未来の東北博覧会」が開られています。

入場者も夏休みと共に増え開場20日目で70万人を突破。

青森、岩手などからの観光バスで駐車場が埋まれば、民間鉄道になったばかりのJRも臨時の駅をつくって仙台駅から列車を運転するなど交通機関のサービス合戦も盛んです。

場内中央に長さ280メートル、幅12メートルの日よけの大回廊がつくられ、夏の陽ざしから観客をカバー。

パビリオンも人気の独眼竜政宗館を始め33館がそれぞれのテーマをかかげて入場者の呼び込みに張り切っています。

中でも21世紀の東北を象徴する「東北未来館」が人気のもと。

50年後の暮らしはロボットが主役で家事に情報にと活躍し人間は何をすればよいのか心配になるほど。

予算40億円、入場者数200万人を目標とするこの博覧会。

来年以降、各地で行なわれる博覧会関係者から、その成果が注目されています。